

レの改修が必要であると思われるが。

A 議会の了解が得られれば早急に対応したい。

**歳入**

Q 町民税、固定資産税ともに当初予算に比べ、例年ある程度の増額決算となっているが、当初予算を低く見積もりすぎではないのか。

A 当初予算は歳入欠陥を起さないよう計上するため、ぎりぎりまで見込むことは難しいが、過去何ヵ年かの状況を勘案し、計上している。

Q 総務費国庫補助金でかなりの金額が建物の維持改修費に使用されているが、その決定の過程と年次計画的な維持改修計画が作成されているか伺う。

A 翌年度実施予定のものを交付金が充てられたので前倒しにより実施した。維持改修の年次計画は

作成していないが、毎年必要な箇所を把握し、査定をしながら予算に計上している。

Q 住宅使用料の滞納について、徴収の際、前年度以前の滞納額から収納しているのか、それとも現年度分からか。また、退去した場合はどのように取り進めているか。

A 滞納額の徴収については現年度優先で行っている。退去した場合は、本人あるいは保証人から納めていただいている。

Q 留萌広域行政組合解散に伴う出資割戻金七千二百万円は、どの基金に積立てたのか。また、北海道の割戻金一億円と各市町村の負担金で事業を行うと聞いたが説明を求めらる。

A 七千万円を「ふるさと振興基金」に積立てた。北海道の出資割戻金と各市町村負担金の計二億

円を原資に「活性化協議会」を設立。事業は各市町村により様々であるが、市立病院の救急医療に対する負担金、イベント補助金、広域的な観光PR等を行う内容となっている。

**決算全体**

Q 決算書は予算の執行と対比できる詳細を示し、成果報告については、実施した事務事業の効果や評価を掲載すべきと思われるが。

A 全体的に補助金・負担金の細部にわたって見直しを行う必要があるのでは。

Q 決算書の書式は規則で決まっており、付属資料としてどの程度までできるか検討したい。事業ごとに対する成果検証は今後の検討課題としたい。

A 補助金・負担金の必要性は予算編成の段階で検討しているが、さらに厳しく内容を精査していく。

## ゆったりかん運営等調査特別委員会が最終報告

総合交流ターミナル施設「ゆったりかん」は小平町の観光拠点、町民の福利厚生役割を担う施設として平成10年に開設され、これまで運営されてきましたが、近年の道北観光の低調や燃油高騰などによる経営の圧迫、加えて経年劣化に伴う施設改修の必要性など課題が山積し、町の財政負担も大きくなっている現状にありました。



こうした中、議会においても当施設の今後の運営については重要な行政課題と位置づけ、集中的に調査、研究を行うため、平成21年12月定例会において議員全員による「ゆったりかん運営等調査特別委員会」

(東海林委員長)を設置し、平成23年度以降の施設運営のあり方等について合計5回の委員会を開催、そこで様々な協議・検討がされ、平成22年12月定例会において以下の内容の意見をまとめ、本委員会の最終報告としました。

**(要旨)**

1. 施設の老朽化に伴う大規模改修など多くの課題もあり財政負担を熟知した上で、環境整備やニーズに対応した用途変更など、集客を高める方策を講じられたい。
2. 施設有効利活用や経費削減の観点から、将来的には隣接する「ゆうゆうそう」との一体化を図るとともに、収益性向上のためコスト削減はもとより不採算部門の季節的な開閉も英断する必要がある。
3. 経営改善及び施設改修等の協議・検討にあたっては「構造改善事業協議会」を有効活用すべきであり、必要によっては構成メンバーの再考を含め改善を図られたい。
4. 指定管理者選定委員会の結果を踏まえた中で、最適なる指定管理者の候補者選定に努め、必要条件など綿密な協議を行い、協定内容を遵守されたい。